

富岡町議会全員協議会日程

日時：平成29年7月14日

時間：午前10時から

富岡町役場 全員協議会室

開 議 午前10時00分

出席議員（12名）

議長	塚野芳美君	1番	渡辺英博君
2番	高野匠美君	3番	渡辺高一君
4番	堀本典明君	5番	早川恒久君
6番	遠藤一善君	7番	安藤正純君
8番	宇佐神幸一君	10番	高野泰君
12番	高橋実君	13番	渡辺三男君

欠席議員（1名）

11番 黒澤英男君

欠員議員（1名）

説明のための出席者

町	長	宮本皓一君					
副町	長	高橋浩一君					
副町	長	滝沢一美君					
教	育	長	石井賢一君				
会	計	管	理	者	三瓶直人君		
参	事	兼	総	務	課	長	伏見克彦君
企	画	課	長	林	紀夫君		
税	務	課	長	小林元一君			
健康福祉課	長	植杉昭弘君					
住	民	課	長	斉藤一宏君			
参	事	兼	生活	環境	課	長	渡辺弘道君

産業振興課長	猪	狩	力	君
復興推進課長	黒	沢	真也	君
復旧課長	三	瓶	清一	君
参事兼 教育総務課長	石	井	和弘	君
いわき支所長	三	瓶	雅弘	君
健康福祉課 健康づくり係 課長兼係長	安	倍	敬子	君
健康福祉課 福祉係 課長兼係長	佐	藤	邦春	君
教育総務課 校長補佐係 課長兼係長	飯	塚	裕之	君
教育総務課 生涯学習係 課長	三	瓶	秀文	君

職務のための出席者

議事 会務局長	志	賀	智秀
議席 会務係局長	大	和田	豊一
議席 会務係主任	藤	田	志穂

付議事件

1. 保健センター機能回復工事について
2. スポーツ施設復旧工事について
3. 富岡第一中学校施設復旧工事の変更について
4. その他

開 会 (午前10時00分)

○議長(塚野芳美君) おはようございます。ただいまより富岡町議会全員協議会を開催いたします。

ただいまの出席議員は12名であります。欠席議員は1名であります。説明のための出席者は、町長、副町長、教育長、そのほか関係各位であります。職務のための出席者は、議会事務局長ほか議会事務局職員であります。

付議事件に入る前に、町長より全員協議会招集内容の説明とご挨拶をいただきたいと思います。

町長。

○町長(宮本皓一君) 議員の皆様、改めましておはようございます。大変お忙しい中ご参集を賜りまして、まことにありがとうございます。

全員協議会の開催に先立ち、7月5日からの九州北部地方における断続的な大雨により、福岡県及び大分県で大きな被害が発生しております。被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。我が町の多くの町民は、引き続き全国各地に避難しており、福岡、大分両県においても避難者がおりますが、現段階で全員の安否確認が終了しており、無事が確認されていることを申し添えます。我々も、未曾有の大震災を経験した身であり、これまで全国の方々からさまざまなご支援をいただいております。今回発生いたしました災害においても、恩返しの意味も含めてさらなる情報収集を行いながら、可能な限りの支援を行ってまいりたいと考えております。

さて、本日の全員協議会の案件は、保健センター機能回復工事について、スポーツ施設復旧工事について及び富岡第一中学校施設復旧工事の変更についての計3件をご説明するものであります。いずれの案件も、本町の復興に向けた非常に重要な案件でありますので、議員の皆様のご貴重なご意見をお願い申し上げ、挨拶といたします。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長(塚野芳美君) それでは、付議事件に入ります。

付議事件1、保健センター機能回復工事についての説明を健康福祉課長より求めます。

健康福祉課長。

○健康福祉課長(植杉昭弘君) 皆様、おはようございます。それでは、富岡町保健センター機能回復工事につきまして、健康福祉課からご説明をさせていただきます。

それでは、お手元の資料、平成29年7月14日全員協議会資料1、健康福祉課、富岡町健康センター機能回復工事、こちらの資料をごらんいただきたいと思います。富岡町保健センターは、従来から町民の健康相談、健康教育、健康診査等総合的な保健活動を推進するため機能を果たしてまいりました。しかしながら、東日本大震災による地震と原子力発電所事故による長期避難のため、建物本体、電気設備、機械設備に被害を受けておる状況でございます。このことから、富岡町保健福祉アクションプランに基づき、町民の健康づくりの活動拠点として機能回復を図るため、昨年度実施計画を済ませまして、今年度は施設としての機能回復を図るため、復旧工事を行うものでございます。

復旧工事の概要及び今後のスケジュールについてご説明をさせていただきます。資料の右側には主

な工事と工程表を、左側に平面図を記載しております。また、資料右側の主な工事概要の備考に記載しております番号や赤斜線、赤メッシュにつきましては、左側平面図にも場所がわかるように同じ番号などを記載させております。

右側、主な工事概要をごらんください。1の建設工事における主な工事は外壁、屋根防水、鋼製扉、キャノピー、高天井耐震、内装工事となっております。1の(2)、屋根屋防水工事は、左側図面で見えますと上段、屋上平面図赤斜線の部分になりますが、屋根全体のアスファルト防水を修繕し、回復するものでございます。1の(4)、キャノピー工事は、左側図面でいうと中段②の部分になりますが、庁舎と保健センターを結ぶ渡り廊下の軒天井が朽ちていることから、これを改修する工事であります。1の(5)は、左側中段、2階平面図の赤メッシュの部分になりますが、地震による被災箇所であり、旧耐震基準であることから、現基準に適合するよう天井改修とともに落下防止対策を行うものでございます。1の(6)、内装工事は、天井の修繕、事務室のOAフロア化やカーテン、床材の張りかえ、壁面の仕上げ材の全面修繕を行います。

次に、電気設備の主な工事は動力設備、照明設備、自動火災報知設備、構内配線設備工事でございます。2の(1)、動力設備は、空調設備の動力盤が劣化していることにより更新を行うものでございます。(2)、照明設備は、不動になりました照明制御装置を更新するとともに、それと連動するセンター内の照明をLEDに更新するものでございます。(3)、自動火災報知設備は、受信盤の修繕を行い、(4)、構内配線設備工事は、キャノピーの配線等を改修し、LED照明とするものでございます。

次に、機械設備の主な工事は空調設備、換気設備、衛生設備、給湯設備工事でございます。3の(1)、空調設備は、センター内の空調設備が劣化しているため、全て更新を行い、設備がなかった調理実習室に空調機器を追加するものでございます。(2)、換気設備は、老朽化のため電熱交換機を全て更新し、ホールにサーキュレーターファンを設置するものでございます。(3)、衛生設備は、和式便器を洋式便器へ改修し、温水洗浄便器にするものでございます。(4)、給湯設備は、調理室のコンロ、オーブンを更新し、1階、2階のトイレの温水器及び混合弁を新規に設置するものでございます。

最後に、今後のスケジュールについて、資料右下の表をごらんいただきたいと思います。現在工事発注に向け準備を進めております。予定といたしましては、8月上旬に入札、仮契約を行わせていただきまして、工期にどうしても約7カ月が必要なことから、それに合わせまして、大変申しわけございませんが、臨時議会を開催していただければと思っているところでございますが、そこでご同意をいただければ、工事着手をして来年3月中の工事完了を目指すものでございます。

説明は以上となります。よろしく申し上げます。

○議長（塚野芳美君） 説明が終わりましたので、質疑を行います。質疑ございませんか。

13番、渡辺三男君。

○13番（渡辺三男君） 説明はわかりました。機能回復工事ということで、ある程度立派にはなるの

かなと思うのですが、この保健センターはどういう施設かという、子供たちの健康診断とか、そういうところに使う施設なものですから、線量が一番問題なのかなと思うのです。今現在線量どのくらいあって、この機能回復工事によってどのくらい下げることができるのか、それが一番重要なかなと思いますので、その辺お聞かせください。

○議長（塚野芳美君） 健康福祉課長。

○健康福祉課長（植杉昭弘君） まず、現在の保健センターの線量について申し上げます。線量自体につきましては、1階の平均が $0.1\mu\text{Sv/h}$ です。2階の平均線量が同じく $0.1\mu\text{Sv/h}$ となっております。

参考になりますが、こちらの測定につきましては、ことしの6月28日に行ったものでございます。さらに、前回27年の7月9日にも1度線量検査をしているところでございますが、そのときの値が前回測定値、1階が $0.176\mu\text{Sv/h}$ 、2階が $0.13\mu\text{Sv/h}$ でございました。1階、2階ともに2年前と比べてまして約20%の低減率となっております。こちらの $0.1\mu\text{Sv/h}$ という数値につきましては、福島県内におきますと、例えば福島県庁周辺、こちらが大体 $0.13\mu\text{Sv/h}$ 、あと郡山市役所近辺 $0.14\mu\text{Sv/h}$ 、あといわき市役所近辺は $0.09\mu\text{Sv/h}$ と余り変わらない数値となっているところでございます。しかしながら、議員がおっしゃるとおり、こちらの施設はたくさんのお子さんが使う施設であるということから、私どもやはり内面の天井、壁面については、クロスの総入れかえをしたいと思っております。それをするによって、さらに線量の低減が図れるものと今考えているところでございます。

以上でございます。

○議長（塚野芳美君） 13番、渡辺三男君。

○13番（渡辺三男君） わかりました。

一番重要な部分を見過ぎさないでやってほしいのです。本来ここまで上がってくる時点で、1カ月くらい前とか、1週間前とかの線量をきちんと把握して、この辺をこうやれば下がるとか、ああやれば下がると、そういうのまでやっぱりきちんと調査をしていかないと、やる意味なくなってしまうので、今福島とかわき支所の線量聞きました。その数字でいいのかといたら、その数字でいいわけではないですから、震災前の 0.04 とか 5 の数字にならないと満足しないわけですから、国もフォローアップ除染などを重ねて、将来的には年間被曝線量1ミリ以内と言っているわけですから、そういうことを考えればやっぱり一番重要な施設ですので、子供たちが戻ってこれるかこれないか、こういうところにかかっていますので、ぜひその辺を国にもきちんと言って、やるところは徹底してやってもらおうと。それで線量下がればもう万々歳ですので、よろしくお願いします。

○議長（塚野芳美君） 健康福祉課長。

○健康福祉課長（植杉昭弘君） ありがとうございます。

私ども町としても、少しでも線量を下げるべく、繰り返しになってしまいますが、建物内の壁面の仕上げ材を全面改修を行うような予定ではございますが、さらに国にもやはりこちらについては私ども子供たちが集まる施設として大事な施設でございますので、なお一層の国の除染に関する問題提

起をしていきたいと思ってございます。ありがとうございます。

○議長（塚野芳美君） そのほかございますか。

7番、安藤正純君。

○7番（安藤正純君） 今の質問とちょっとかぶりますけれども、確かに1階、2階の線量も大切なのですけれども、そこまで行く過程、駐車場の芝生がどうだとか、通路のコンクリートの上はどうだとか、ここは雑木林が役場の周り多いのです。そういった役場、ここオープンするときには周りもやってくれるということだったのだけれども、何か違うプロジェクトでやるということで、まだやっていないところもありますので、建物もそうだけれども、その周辺についてもちょっと着目してほしいなと思うのですけれども、課長、その辺どうでしょうか。

○議長（塚野芳美君） 健康福祉課長。

○健康福祉課長（植杉昭弘君） 先ほど建物内の平均の空間線量率のお話をしたのですが、この平均値を上げる前に各部署について線量はかっております。やはりその中で高いと思われるのは、今議員がおっしゃったとおりの雑木林を背負うところが平均からいくと比較的高い数値をあらわすようで $0.15\mu\text{Sv/h}$ ぐらいになっております。

これにつきましては、先ほど申し上げた壁面の仕上げ材を全面改修することによってどの程度下がるかというのもあると思うのですけれども、さらには国ともちょっと相談をしまして、やはり子供が使うところだということで相談しまして、さらなる低減ということをお願いしてまいりたいと思ってございます。

以上でございます。

○議長（塚野芳美君） そのほかございますか。

6番、遠藤一善君。

○6番（遠藤一善君） 済みません、先ほど1階と2階の空間線量の推移があったのですが、今回屋上のアスファルト防水を全て修繕ということで、屋上の現在の線量がどうなっているのかということと、露出のアスファルト防水なので、これはちょっと全て修繕というところに含まれているのかもしれないのですが、当然全て撤去をして、下地のコンクリートの段階で線量がないことを確認した上でやると。張りかえをして線量を落とすということによろしいのでしょうか。

○議長（塚野芳美君） 健康福祉課長。

○健康福祉課長（植杉昭弘君） では、私から屋上の線量につきましては調査結果について報告させていただきます。

屋上につきましては、道路側に面したほうが平均で約 $0.3\mu\text{Sv/h}$ になってございます。庁舎側に面している屋上につきましては、平均で $0.2\mu\text{Sv/h}$ でございます。今回の屋上の工事につきましては、まずは基本は防水の観点ということから張りかえを行うことにはなっているのですが、実際の工事内容につきましては、大変申しわけございません。復旧課長からお答えさせていただきたいと思います。

○議長（塚野芳美君） 復旧課長。

○復旧課長（三瓶清一君） 屋上のアスファルトに関しましては、アスファルト材を全て撤去しまして、そここのところの線量もはかりまして、それで復旧をするという設計となっておりますので、ご理解をお願いします。

○議長（塚野芳美君） 6 番、遠藤一善君。

○6 番（遠藤一善君） 修繕という言葉があつたので、張りかえと書いていなかったの、質問させていただきましたが、今の課長の答弁ですと、張りかえをするということなので、ぜひともこのところはよろしくをお願いします。

それから、キャノピーのところ、天井の修繕という、軒天の修繕ということで出ているのですけれども、天井裏なので、そんなに線量が高いということはないのかなという気はするのですけれどもこの辺キャノピーの辺の線量というのはどういうふうになっているのか、ちょっとその辺もあわせてをお願いします。

それからもう一点、ちょっと細かいことで申しわけないのですが、1 階の待合ホールから集団健診室に入るところのドアが図面から抜けているのですけれども、以前この本庁舎を使う前にここで仮調査しているときに、ここのドア余り調子よくなかったような感じがするのですが、その辺のチェックは、ちょっと細かいことで本当申しわけないのですが、どうなっているのでしょうか。

○議長（塚野芳美君） 健康福祉課長。

○健康福祉課長（植杉昭弘君） では、私からキャノピーの天井部分の線量について申し上げたいと思います。

実は、大変申しわけございません。キャノピーの天井裏の線量については今測定をしておらず、線量自体は把握はしていないところでございますが、それに近い場所につきましては、平均で $0.35 \mu\text{Sv/h}$ というような数値になってございます。

あと、待合ホールから集団健診室についてドアにつきましては、復旧課長からお答えさせていただきます。

○議長（塚野芳美君） 復旧課長。

○復旧課長（三瓶清一君） 集団健診室に入るところのドアにつきましては、設計上は載ってはございませんけれども、これは工事の段階で再度確認しまして、修繕させていただきたいと思います。

以上でございます。

○議長（塚野芳美君） よろしいですか。

○6 番（遠藤一善君） はい。

○議長（塚野芳美君） そのほかございますか。

12 番、高橋実君。

○12 番（高橋 実君） では、6 番議員と類似するのですけれども、このキャノピーの柱の部分、随

分前にさびついたりなんかして云々ということをやっていたのだけれども、その言葉が全然出てこないで、その点どうなっているのかと、あと（６）の内装工事の一番下、壁面の仕上げ材を全面で修繕を行う、この中身の意味を教えて。修繕は、全部取っ払って張りかえる修繕なのか、一部の修繕なのか、ちょっとよく理解できないのだけれども、その２点。

○議長（塚野芳美君） 復旧課長。

○復旧課長（三瓶清一君） キャノピーの柱の件でございますけれども、こちらも確認をしまして、カバーとか何かもさびていたようなところもございますので、それもあわせて修繕をしたいと思います。

それから、内装の中身につきましては、クロス関係につきましては全面張りかえ、それから塗装部分につきましては再塗装ということで考えております。

以上です。

○議長（塚野芳美君） よろしいですか。

そのほかございますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（塚野芳美君） なければ、付議事件１につきましては質疑を終了いたします。

次に、付議事件２、スポーツ施設復旧工事についての説明を教育総務課長より求めます。

〔「入れかえるので」と言う人あり〕

○議長（塚野芳美君） 入れかえますので、暫時休議いたします。

休 議 （午前１０時２０分）

再 開 （午前１０時２１分）

○議長（塚野芳美君） 再開いたします。

教育総務課長。

○参事兼教育総務課長（石井和弘君） おはようございます。それでは引き続きまして、教育委員会部門の説明をさせていただきますと思います。

最初に、富岡町総合スポーツセンターの災害復旧工事についてご説明をさせていただきます。富岡町総合スポーツセンターにつきましては、去る６月１４日から１６日の３日間にかけて災害査定を受検いたしました。査定額が示されたところでございます。震災により被害を受けました野球場、武道館、テニスコートなどの復旧工事を行いまして、町民の皆様の交流の場、体力増進の場として整備、改修し、スポーツを通じた交流人口の拡大を図っていきたいと考えているものでございます。

工事内容につきましては、生涯学習係、三瓶係長よりご説明をさせていただきますので、よろしくお願いしたいと思います。

○議長（塚野芳美君） 係長。

○教育総務課生涯学習係長（三瓶秀文君） それでは、総合スポーツセンター災害復旧工事の概要についてご説明をさせていただきます。資料ナンバー2をごらんください。今回の災害復旧工事では、東日本大震災及び原子力発電所事故により被害を受け、または避難指示によって管理不能となり、被害の拡大した箇所について災害復旧を行うものとなっております。工事は、富岡町町営野球場の改修工事、富岡町武道館の改修工事、テニスコート、附属建屋、その他改修工事ということで、大きく3つに分かれております。

富岡町総合スポーツセンター災害復旧工事ということで、一本で工事の発注をしようとするものです。工事の概要としましては、資料の左側をごらんください。富岡町町営野球場の改修工事では、大きなところとしまして、観客席のベンチシートの撤去再設置、パールポールが折損しておりますので、その再設置、スコアボード部分の地盤沈下が起きておりますので、これの改修工事を行おうとするものです。

次に、富岡町武道館の改修工事につきましてご説明をさせていただきます。地震により被害を受けた玄関エントランス周りの改修工事、内部天井の木製のルーバーが地震で落下しておりますので、それによって被害を受けた床面の改修、残っております天井部分のルーバーの撤去を行おうとするものです。

最後に、テニスコート及び附属建屋の改修工事についてご説明をさせていただきたいと思います。テニスコートの人工芝、これの全面張りかえを考えています。管理棟の修繕、附属建物としてバス倉庫の修繕、プロムナード広場のタイルを撤去してカラー舗装、アスファルト舗装で簡易なやりかえを行いたいと考えております。

工事については今後入札を実施し、仮契約を行った後、議会の皆様の同意をいただき、工事着工をしてみたいと思います。工期についてなのですが、資料の左下の部分になります。約7カ月の工期を予定していますので、8月から3月の末まで工期をとって、年度末工事終了を目指していきたいと考えております。

説明以上になります。ご審議方よろしく願いいたします。

○議長（塚野芳美君） 説明が終わりましたので、質疑を行います。質疑ございませんか。

6番、遠藤一善君。

○6番（遠藤一善君） まず1点目、野球場のベンチシートの撤去新設というのがあるのですが、当然椅子自体は取りかえるのだと思うのですが、その下のコンクリート面というのは、1度除染はしているのだと思うのですけれども、今現状でそのコンクリート面そのものの線量がどうなっているのかということをお聞かせください。

それから、この夜間照明なのですけれども、照明器具とか器具の取りかえがあるのですが、器具をつけるために付いているその金属のフレームとかあるのですけれども、その辺の線量とかは大丈夫なのかどうかちょっと確認したいのですけれども。

○議長（塚野芳美君） 生涯学習係長。

○教育総務課生涯学習係長（三瓶秀文君） まず、町営野球場のベンチ椅子の状況についてお知らせをさせていただきたいと思います。

現在ベンチ椅子については、経年劣化の部分がありまして、これについては撤去やりかえをしたいということで先ほどご説明をさせていただいたとおりです。線量につきまして、毎月我々で線量の測定をして、現在利用者について周知をさせていただいているところです。ベンチ周りにつきましては $0.15 \mu\text{Sv/h}$ というような値が出ております。

照明器具の更新につきまして、2つ目の質問になりますけれども、これについては今後点検を行った後、修繕が必要であれば工事の中で行ってまいりたいと考えております。よろしくお願いいたします。

○議長（塚野芳美君） 6番、遠藤一善君。

○6番（遠藤一善君） 皆さんもいろいろとわかっているかと思うのですが、外部、直接外気に面している鉄系統というのが非常に線量が高くて、リサイクルができないような状態で、最終処分場に持っていかなければいけないというようなことが時々起きてきますので、くれぐれも外にある鉄というのは注意をしてやっていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○議長（塚野芳美君） 係長。

○教育総務課生涯学習係長（三瓶秀文君） 今議員のご指摘ありましたとおり、廃棄物の関係、そして汚染された発生材の関係についても注意しながら進めてまいりたいと考えております。よろしくお願いいたします。

○議長（塚野芳美君） そのほかございますか。

4番、堀本典明君。

○4番（堀本典明君） ありがとうございます。武道館の改修についてちょっと聞きたいのですが、特に内部の部分で、せっかく直すのに一部の撤去とか新設とか、クロスなんかも1室か、何かお金かければいいのかというものではないと思うのですが、安心をするためには、ある程度きれいに全部しておくというのも考え方なのかなと思うのですが、そのあたりのお考えちょっと聞かせください。

○議長（塚野芳美君） 係長。

○教育総務課生涯学習係長（三瓶秀文君） 武道館の改修工事について、内部の部分で一部が目立つということで今議員からご指摘ございましたけれども、災害復旧工事という観点から、査定を受ける段階で被害のあった箇所限定されてしまうというところがございます。これにつきましても、必要であれば議員の皆様にお諮りしながらですが、必要な箇所はより使いやすくなるようなことも検討しながら工事を進めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

○議長（塚野芳美君） 4番、堀本典明君。

○4番（堀本典明君） とりあえず今査定の段階でのということだったので、納得なのですが、特に

内部につきましては、安心という観点から中途半端なことをしないで、ある程度全面の張りかえ等々のことが必要だと思いますので、検討していただいて、金額にもよると思いますが、ぜひ前向きにご検討ください。これは要望です。

○議長（塚野芳美君） 係長。

○教育総務課生涯学習係長（三瓶秀文君） ご指摘いただきました案件を今後工事の中で検討させていただきながら進めてまいりたいと思います。よろしくお願いします。

○議長（塚野芳美君） そのほかございますか。

12番、高橋実君。

○12番（高橋 実君） 今の4番議員の言うとおりの、全くそのとおりなのだけれども、人が使って長時間、そんなところは十分でないとお金の出どころとかいろんなこともあったけれども、この天井を見てください。これが一部修繕というものです、内部にしても外にしても床にしても壁にしても。こうやって見てあっと思う人が多大にいると思うのだ。だから、あとは資金繰りがどうなるかだけだから、そこら辺はどちらを選ぶか、そこは十二分頭に入れて進めてもらいたいということと、あと空間線量さっき自分たちはかっていると言うけれども、どういうはかり方しているか。地上1センチ、50センチ、1メートルの空間線量はかっているのか、じかに器具を使って直どりしているのか、どういうはかり方しているの。

○議長（塚野芳美君） 係長。

○教育総務課生涯学習係長（三瓶秀文君） まず、1点目のご質問なのですが、一部の改修か全面かということで、これも同じ回答になってしまうのですが、できることとあとできないこととちょっと精査しながら、復旧工事の中で復旧課の皆さんともご相談しながら進めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

あと2点目、線量の測定についてなのですが、毎月線量の測定をさせていただいております。1センチと1メートルでシンチレーションを持ってきて、線量の測定を行っています。時定数を30秒で設定して、3回計測したものの平均ということで皆さんにお渡しする資料をつくってございます。

以上になります。よろしくお願いします。

○議長（塚野芳美君） 12番、高橋実君。

○12番（高橋 実君） そのぐらいのはかり方しているのだったらいいけれども、とにかく人が集まるところだから、あとはもう一部修繕というものの、どうしてもという部分はこれは町長にお尋ねしますけれども、国県補助のほか町で持ち出してでも、場所によっては全面張りかえだとかそういうことあり得ると思いますので、そこをこういうことないようにだけよろしくお願いしておきたいのです。

○議長（塚野芳美君） 町長。

○町長（宮本皓一君） ご指摘の点十分わかります。今回の修復工事につきましても、町の持ち出し

というのが2割方出てまいります。そういう意味では、お金がないということばかりではなくて、将来的なことを考慮して検討してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（塚野芳美君） よろしいですね。

そのほかございますか。

13番、渡辺三男君。

○13番（渡辺三男君） 同じ質問になってしまうのですが、先ほどの健康センターもそうなのですが、このスポーツセンターもやっぱりちっちゃな子供から大人まで集う場所ですので、本来この辺はある程度野球場なんか直っているのかなと思ったら、今から災害復旧しますよということなものですから、当然地震災害であれば、その災害を受けた分だけの補助という形なのかなと思うのです。だけれども、本来考えれば一番大変なのはやっぱり線量ですので、全面改修することによって線量が下がるのであれば、当然私はそうすべきかなと思うのです。予算のとれない部分は町長、副町長にしっかり頑張ってもらって、いろんな部署から集めてきてもらおうと。そういうふうを担当課がやっていかないと、壊れたところだけ直すというのでは当然新しくなればそこだけは多分線量下がると思うのだけれども、本来は全面改修が一番いいわけですから、ただ全面改修まではできないにしても、やっぱり線量をきちんと調査して、高いところは線量高いからこうしますよという提言をしないと誰も予算はくれませんから。

野球場なんか見ますと、私も富岡来ていて、富岡町もここまで戻ってきたのだなと思って感じ取っていたのです。というのは、未来の生徒方が野球練習に使っていたのです。今の子供たちは、意外とクールなのだなという思いで私はほっとしていたのです。ああいう子供たちもいるのですから、しっかり町は線量下げる努力しないと、物なんか少しぐらい壊れていても、線量なければじゃんじゃん来るのですから、その辺をしっかり頭に入れて、工事やる際には工事を行ってほしい。

○議長（塚野芳美君） 教育総務課長。

○参事兼教育総務課長（石井和弘君） ありがとうございます。今回の工事につきましては、先ほど係長からもご説明させていただいており、災害復旧を基本にしてございますが、線量については十分考慮しまして、より多くの線量の低下が図れるような工事を計画していきたいと思っております。

以上です。

○議長（塚野芳美君） 13番、渡辺三男君。

○13番（渡辺三男君） 課長の言うとおり、災害復旧のついでと言ったらちょっと言葉に語弊ありますが、やるときに下げられる部分は下げていくということで、そういうこと踏まえてやってもらわないと、あとではできないでしょう、もう。今体育施設なんか見ると、環境省も本気になって周りのフォローアップやらなんやらで線量低減努力しているみたいですので、一緒になって町は町で建物の中をしっかりとこのときに下げる努力しないと下がりませんので、ひとつよろしくお願いします。

○議長（塚野芳美君） 教育総務課長。

○参事兼教育総務課長（石井和弘君） そのように努力していきたいと考えております。

以上です。ありがとうございます。

○議長（塚野芳美君） そのほかございますか。

7 番、安藤正純君。

○7 番（安藤正純君） 野球場のトイレとか、あとは武道館の屋外便所とか、ちょっと今回の災害復旧工事に入っていないみたいなのですけれども、使用する上で全然問題ないのでしょうか。

○議長（塚野芳美君） 係長。

○教育総務課生涯学習係長（三瓶秀文君） 今回の武道館並びに今野球場の北側のトイレということでご質問いただきましたが、これについても器具の更新、浄化槽あわせてですけれども、再度使用ができるように復旧工事を行っていきたいと思っております。よろしくお願いします。

○議長（塚野芳美君） よろしいですか。

そのほかございますか。

5 番、早川恒久君。

○5 番（早川恒久君） 今回の復旧工事とはちょっと関係ないのかもしれないのですが、先ほども屋外で子供たちが今度利用するというので、特に親御さんが線量を気にするというものもあるものですから、屋外の各箇所にモニタリングポストなんかつける予定があるのかどうかをお聞かせください

○議長（塚野芳美君） 教育総務課長。

○参事兼教育総務課長（石井和弘君） お答えいたします。

現在のところモニタリングポスト等を設置する計画は持ってございません。なお、先ほど係長からご説明をさせていただいたとおり、月 1 回程度線量をはかって、貸し出す際に利用者の方にお示しをしているという状況でございます。

なお、先ほど未来学園さんでも野球部の方が野球場を利用していただいているということなので、利用の際には線量等についてはお知らせした中で、学校の先生、生徒、保護者の方がご理解いただいて利用していただいているという状況でございます。今のところは、線量モニタリングを設置する計画はございません。

以上です。

○議長（塚野芳美君） 5 番、早川恒久君。

○5 番（早川恒久君） 今のところないということなのですが、やはりリアルタイムでどのぐらいの線量があるかというのは必要であると思いますので、何カ所と言わないにしても、最低 2 カ所ぐらいは必要ではないかと思うのですけれども、これはする予定はないというか、検討もされないということですか。

○議長（塚野芳美君） 係長。

○教育総務課生涯学習係長（三瓶秀文君） モニタリングポストにつきましては、今の解体工事が進

んでおりますスポーツ交流館の前に1カ所、そこ1カ所になっております。今後より多く設置したほうがよいのかということも含めまして、今議員ご指摘のとおり検討させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○議長（塚野芳美君） 5番、早川恒久君。

○5番（早川恒久君） ぜひ検討していただいて、これから例えば中体連とか高体連とかも大会として利用することもあるかと思うので、利用してもらうためにも必要になるかと思うので、ぜひ検討いただければと思いますので、よろしくお願いします。

○議長（塚野芳美君） 教育総務課長。

○参事兼教育総務課長（石井和弘君） ありがとうございます。利用していただける方に目に見える形で見ていただいたほうがより安心だと考えますので、検討させていただきたいと思います。

以上です。

○議長（塚野芳美君） そのほかございますか。

2番、高野匠美君。

○2番（高野匠美君） テニスコートの芝の張りかえについてちょっとお聞きしたいのですけれども芝を取った後、下の線量というのは再度はかったりするのかというの1点と、それとテニスコートをこれだけきれいにするに当たって、使いやすいようにベンチとかつける予定はあるのかどうか、ちょっとその辺お聞きしたいです。

○議長（塚野芳美君） 係長。

○教育総務課生涯学習係長（三瓶秀文君） まず1点目、テニスコートの人工芝の下の線量についてですが、これについて一部もう既に人工芝が剥がれている箇所がありまして、線量計測を同様のやり方でしております。

昨年復旧工事を行いました多目的サッカー場も一緒なのですが、どうしても人工芝についてはレノマチックの工法という除染の方法で、人工芝のすき間に入っているチップを吸いとるという環境省の除染の工法をしております。これだけでは線量が十分に低減しませんので、今回全面撤去張りかえということで計画しておりますが、下の線量について0.15マイクロシーベルトということで、1センチの線量になってございます。それを確認した上で、その上に人工芝を張るような工事を行ってまいりたいと思います。

最後、ベンチ等の設置についてなのですが、現在あるものとあわせて時間がたっておりますので、経年劣化したものについては更新を考えていきたいと思っております。

以上になります。よろしくお願いします。

○議長（塚野芳美君） よろしいですか。

そのほかございますか。

13番、渡辺三男君。

○13番（渡辺三男君） 質問ではないのですけれども、この体育施設全般が今回ある程度工事が完了するのかなと思うのですが、ふれあいドームがちょっと抜けているのかなと思うのです。なぜ一緒にやらないのか。やる必要がないのか。

○議長（塚野芳美君） 係長。

○教育総務課生涯学習係長（三瓶秀文君） ふれあいドームにつきましては、地盤沈下が起きているというところがありまして、あそこ盛り土で下の床の部分になっているものですから、東側に地盤の吸い出しを送っているような状況になっています。被害の規模が甚大であるということから、別途発注を考えてございます。

今現在ふれあいドームにつきましては、実施設計を行っておりまして、これから実施設計が完了した状況を見て、来年度災害復旧工事を実施してまいりたいと計画しているところでございます。よろしくをお願いします。

○議長（塚野芳美君） よろしいですね。

そのほかございますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（塚野芳美君） なければ、以上をもちまして付議事件2についての質疑を終了いたします。

次に、付議事件3、富岡第一中学校施設復旧工事の変更についての説明を教育総務課長より求めます。

教育総務課長。

○参事兼教育総務課長（石井和弘君） それでは続きまして、富岡第一中学校施設復旧工事の変更についてご説明をさせていただきます。

富岡第一中学校施設復旧工事につきましては、去る5月9日開催の臨時議会におきまして議決をいただき、災害復旧を基本にした工事を進めているところでございますが、工事着手後に机や椅子、ロッカーなど残置物を校舎外に移動したところ、壁や天井などにかびの汚れが多く見受けられることが発見されました。また、鳥獣被害なども見受けられたほか、長期間閉鎖していた施設であるため、におい等もこもっている状況であります。このため、子供たちの健康被害防止のため教室内の全面的な改修を行いたく、工事内容を変更したいものでございます。

あわせて、改修計画を定めた後に、他の施設、改修した学校などを施設または現場の先生方のご意見等も踏まえまして、ユニバーサルデザインの観点からも、トイレについても現在の和式の大便器を全て洋式に変更したいと考えてございます。

工事内容につきましては、総務管理系の飯塚補佐からご説明をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（塚野芳美君） 課長補佐。

○教育総務課課長補佐兼学校管理係長（飯塚裕之君） では、私からは資料に基づきまして説明した

いと思います。

資料3、富岡第一中学校施設復旧工事の変更についてをごらんください。今回の変更内容は、左上表の主な工事概要、こちらに示したものとなっております。さらに、今回変更の中で下の凡例に示すものが変更の主たるものとなります。

では、下の凡例と右側の図面をごらんください。図面、2階が上の部分、1階が下の部分となっております。着色部分は、南校舎は1階両端のトイレ2カ所を除く全ての部分となっております。これに対し、特別教室のみとなります北校舎につきましては、1階の音楽室及び2階の被服実習室としたところです。これは、平成30年4月開校に間に合わせるべく優先的に必要な部分を選定したものととなります。工事内容としましては教室及び廊下、多目的ホール、こちらが壁全面の塗装、天井については全て交換としております。床につきましては、当初どおりでございまして、参考として表に掲載しましたが、工事内容としましては全面サンダーがけをし、ウレタン塗装を施すということになっております。トイレにつきましては1階、2階それぞれ2カ所を全て洋式に入れかえるものでございます。間仕切りも撤去し、使いやすいつくりとしてまいりたいと考えております。

工事工程でございますけれども、左側表の真ん中です。現契約が12月末の工期でございましたけれども、1カ月ないし2カ月の延長が見込まれているところでございます。

これら工事の変更により、少しでも安心して快適な学校生活を送れるようにしたいと考えておりますので、よろしくお願いしたいと思います。

説明は以上になります。

○議長（塚野芳美君） 説明が終わりましたので、質疑を行います。質疑ございませんか。

7番、安藤正純君。

○7番（安藤正純君） 先ほど課長から工事が始まったらあれが出てきた、これが出てきたというお話なのですが、本来であればそういうことは一番最初からわかっているべきことかなと思うのですが、どうして最初からそういうこと、動物のふんとかそういうにおいとか、そこまできっちり見積もりの段階からやっていなかったのか。教育総務課は、それを立ち会ってちゃんとここも直さないといけないよねとか、そういうことをやられたのかどうか、その辺もちょっとお話聞かせてください。

○議長（塚野芳美君） 教育総務課長。

○参事兼教育総務課長（石井和弘君） ご説明いたします。

調査段階で椅子、机、ロッカーなどの備品等も教室内にあった状況でございます。それらにつきましては、今回の工事発注と同時に全部外に出したというような状況でございます。それら状況を改めて見ますと、壁に傷が多くあったり、しみがあったり、かびがあったりというようなことがさらに発見されたということでございます。壁等の改修をいたしますと、天井もやはり全面改修しないと、6年間放置していた施設というようなことなので、今回改めて改修工事を行わせていただきたいと思いますのでございます。

なお、におい等につきましては、調査の段階ではとれるのではないかと考えてはございましたが、工事着手後に何日か通って確認した結果、やはりにおいもとれないということなので、当初からの計画でなくて大変申しわけございませんが、今回変更させていただきたいと考えているところでございます。

以上です。

○議長（塚野芳美君） 7番、安藤正純君。

○7番（安藤正純君） 課長は、例えばその工事の専門家でもないから、最初見たときににおいが抜けるとか、そういう想定ができなかったということで、やむを得ないというか、変更させてくれということなのですけれども、子供が入る教室だから、やはり完璧というのが一番理想です。だから、私は反対しませんけれども、今後こういう修繕があった場合には、想定すべきところを完璧に想定した上で見積もりをやったほうが、後から後からというと、何でそんなことわからなかったのと疑問持ってしまうので、その辺は今後気をつけてやってください。

○議長（塚野芳美君） 教育総務課長。

○参事兼教育総務課長（石井和弘君） ありがとうございます。当初の工事につきましては、災害を基本と考えていたのですが、実際工事に入った中でより子供たちに安心していただくためにはということで、教室の全面改装を今回行うということでご説明させていただいているところであります。

なお、今後につきましては、最初の段階からきちんとした計画ができるように努めていきたいと思っています。申しわけございません。よろしくお願いいたしますと思います。

○議長（塚野芳美君） 教育長。

○教育長（石井賢一君） ただいまの件については、本当に私たちの思慮不足で大変申しわけなく思っております。学びの森で3月から私たちが職務をしておりますが、教育委員会といたしましては、改修で相当にきれいになるものと思い込んでしまった状況がありました。実際に学びの森に行きましたときに、壁の汚れがあったり、またしみがあったりということを考えたときに、子供たちが学ぶ環境だけはできれば完璧にしたいという思いが途中から起こりまして、急な変更をお願いした状況であります。

また、先ほど来ありましたように、より子供たちの安心、安全を考えた場合に少しでも、0.1でも0.2でも線量を下げたいという思いがありました。そのことがあって今回このような変更工事をお願いした経過がございます。よろしくお願い申し上げます。

○議長（塚野芳美君） そのほかございますか。

13番、渡辺三男君。

○13番（渡辺三男君） 今教育長の思い聞きました。全くそのとおりなのかなと思うのです。生徒が戻ってくるかこないか意向調査をして、当然戻ってくる生徒はいると思っていますので、4月開校ということで、新たに開校ということで、やっぱりこの辺が一番目玉になってくるのかなと。そういう

ことで、この校舎もそうですが、プールも屋内プールにするということで、この辺にはまだ余りないようなプールになるのかなと思っていますので、ぜひそういう売りをつくって、売りは線量が一番です。線量は機械ではからないとわからないですから、きっちり示してやる。あと、見たときに継ぎはぎの校舎では誰も来ない。そういう部分で、ぜひきれいなものをこの際つくってほしい。今からも多分変更はあろうかと思いますが、その辺線量と見た目のよさを十分生かして、もう変更すべきものはきちんと変更してやってもらおうと。

あと、先ほども言いましたが、予算は町長にしっかり確保してもらおうということでよろしくお願いします。

○議長（塚野芳美君） 教育総務課長。

○参事兼教育総務課長（石井和弘君） ありがとうございます。当初からこういった計画をお示しできればよかったのですが、大変申しわけなく思います。

30年4月の学校再開に向けて、子供たちのより安心、安全ということで進めさせていただきたいと思います。これには、前にご指摘いただきました線量についても、十分考えていながらやっていきたいと思っています。

工事の進捗状況によりますが、時期を見まして内覧会等も行っていきたいとは考えてございます。

以上です。

○議長（塚野芳美君） 13番さん、よろしいですか。

○13番（渡辺三男君） いいです。

○議長（塚野芳美君） 12番、高橋実君。

○12番（高橋 実君） ではまず、この資料の中で教室、げた箱一部撤去はいいのだけれども、一部で本当にいいのか。撤去したら撤去した分どういふものでカバーするのだから。これ、教室内の木箱型収納撤去も同じ。ロッカー撤去も同じ。どういふふうに戻すのか。

あと、3番目の多目的スペースのスライド式アコーディオン調整となっているのだけれども、教室内のもので、なおかつ材質がナイロン系なのだから布系のものなのだからちょっとわからないけれども、本当にこれは調整しただけで、あけ閉めの調整だけでいいのか。まるきり交換する必要ないのか。

あと、一番下の校庭の分でバックネット金網撤去、交換は当たり前だと思うのだけれども、鉄骨柱支柱関係、はかつてあるのかはかつていないのか。さびついていれば、表面がでこぼこになっていけば、必ず線量はここから抜けていっていないわけだから、高さも高いからはかつていないかもわからないのだけれども、こういうのもあわせてできれば交換したほうがきれいに安心でできるということまず、この資料の質問はそれ。

そして、そのほかで当初の内容はちょっと思い出されないから、今回あえて再確認のために聞くのだけれども、一中校内の舗装の線量、あと駐輪場、県道から進入始まって一中側、しっかり全部チェックしてあるのか、再度確認のため教えてください。

○議長（塚野芳美君） 教育総務課長。

○参事兼教育総務課長（石井和弘君） それでは、最初のげた箱の一部撤去、なお教室内ロッカー撤去につきましては、まずげた箱を半分の部分、今使う南棟の部分を撤去する考えでございます。教室内につきましては、今あるロッカーを、木製なのですが、それを全部撤去しまして、再設置と考えてございます。再設置につきましては、子供の数等もございますので、今40くらいのボックスがあるのですが、備品等で対応していきたいと考えてございます。

2点目のスライド式アコーディオンの調整につきましては、再度内容を確認して設計に反映していきたいと思ってございます。内容を確認させていただきたいと思います。

3点目の支柱の校庭のバックネット金網撤去と、あとは周りのネットについても今回交換をする予定でございます。鉄骨柱につきましては、今ご指摘のとおり線量等もはかりながらの対応を考えていきたいと思ってございます。

あと最後に、敷地内のアスファルト舗装でございますが、アスファルト舗装の線量につきましては、今現在懸念されている部分としましては、ご指摘の駐輪場部分でございます。校舎北側の部分でございます。これにつきましては、フォローアップ除染が終わったということで、その後のモニタリングの結果を環境省からいただいているところでございますが、町としましては、より線量を下げると保護者の皆さんの安全、安心を確保するために、さらなる線量の低下を求めているところでありまして、アスファルトの部分の撤去再設置を考え、環境省に申し入れしているところではございます。

以上です。

○議長（塚野芳美君） 12番、高橋実君。

○12番（高橋 実君） げた箱のことに対しては、一部分でなくて全部なら全部にとって、必要な分だけ新しくしてやると、そういうふうにしたほうが一番安心できるわけですから。

あと、バックネットは再度確認してください。

あと、校内の舗装、あと駐輪場、駐輪場は全部一回撤去して、使用頻度見て新しく必要な分だけ新設でつけたほうが親御さんも、第三者から見てもきれいにすっきりいくと思うのだけれども、そこら辺もよく考えてください。

終わります。

○議長（塚野芳美君） そのほかございますか。

2番、高野匠美君。

○2番（高野匠美君） 1点質問なのですがけれども、夏場、冬場の冷暖房というのは、ここには書いていないのですがけれども、どうお考えになっているのか。

○議長（塚野芳美君） 教育総務課長。

○参事兼教育総務課長（石井和弘君） お答え申し上げます。

大変申しわけございません。先ほどご説明したとおり、当初計画の中でエアコンは設置ということ

で、冷暖房は工事内容に入っております。全教室エアコンを設置する内容となっております。申しわけございません。今回については、変更内容部分だけのご説明ということでご理解いただければと思います。

以上です。

○議長（塚野芳美君） よろしいですか。

○2番（高野匠美君） はい。

○議長（塚野芳美君） そのほかございますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（塚野芳美君） なければ、以上をもって質疑を終了いたします。

以上をもちまして付議事件3、富岡第一中学校施設復旧工事の変更についてを終わります。

次に、その他に入ります。

執行部からその他ございますか。

産業振興課長。

○産業振興課長（猪狩 力君） 報告が1件ございまして、8月1日より富岡町内で新聞の配達による購読が再開できることになりましたので、報告させていただきたいと思います。

お手元に配付させていただきました8月1日から富岡町内で新聞配達が再開しますにつきましては、広報とみおか7月21日発送になりますが、お知らせ版に同封をさせていただきまして、案内となる予定でございます。ご確認お願いしたいと思います。

なお、この新聞の配達による購読再開につきましては、町内で営業をされていた新聞販売店の各社より、一般社団法人のとみおかプラスが販売業務を受託しまして、購読の申し込みの受け付け、購読者の管理、それから購読料の徴収、さらには新聞代金の新聞製作会社への送付事務が可能となったということがございまして、また町が今現在行っております訪問型の夜間見回り事業の関連業務としまして、町委託先事業者が購読者への新聞をお渡しすることが可能という協議が調ったことから実現したものでございます。

当面はこのスキームで町内居住者や町内の事業者の方々に新聞を購読していただくこととなりますが、今後も新聞製作会社にご協力をいただきながら、新聞販売店の事業再開による新聞配達、購読が実現されるよう、町としましては引き続きかわりを持っていきたいと考えてございます。

なお、裏面に扱う新聞購読の申込書ということで、1番から12番までの新聞の購読紙がございます。月額料金も記載させていただきますが、こちらの内容で申し込みいただきたい。申込先につきましては、先ほど申し上げました一般社団法人とみおかプラス、または産業振興課でもこちらの申し込み受理しまして、とみおかプラスさんに持ち込むというような形で購読者に対応してまいりたいと考えております。

説明につきましては以上でございます。

○議長（塚野芳美君） 今の説明につきまして何か確認したいことありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

そのほか執行部及び教育委員会からその他の項目でございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

○議長（塚野芳美君） ありません。

議員からその他ございますか。

12番、高橋実君。

○12番（高橋 実君） これは、除染関係に関する現課に質問ないし執行部でわかっていたら答弁いただきたいと思います。

今28年度富岡町除染等工事その4工事、11月15日工期で本格除染と解体後除染関係、フォローアップ除染、農地等除染、富岡川の右岸の河口側の除染、あと里山除染に基づいた森林等の除染、グリーンフィールドの除染、結局4月1日解除に向けて国と問答してきた部分、高速道路もそうなのですがJRも。その4工事の分だけで言えば、11月15日の工期に対して最終受け付け、新規での受け付けの部分は7月20日で受け付け終わって、現場施工完了が8月20日ということになってきているのですけれども、フォローアップも7月30日締め切りの現場完了8月20日、農地等は7月20日締め切りの工事現場自体は8月10日、森林関係は7月20日受け付け終了の現場が8月20日、グリーンフィールドも現場完了が8月30日というような工程で行っているのだけれども、この工程、ここで言うべきなのかと思ったのだけれども、こんな調整で今現場自体は動いて通達来たみたいなののですけれども、これでいくと、フォローアップも何もみんなむしくいになって終わり。その後残ったやつが仮に夜の森の困難区域の中の工期におっつけるのか、それも11月27日の工期だから多分無理かなと思うのだけれども、そうなったときに4月1日解除した準備区域と居住制限区域の中がみんなむしかけて終わってしまう。その後、工事で仮に残ったところ集めて発注したとしても、3カ月ないし公告して2カ月入札日あって、それから1カ月かかって工事が始まったって、3カ月あいてしまう。そういうようなスケジュールというものを環境省との打ち合わせで原課でわかっているのか、執行部でわかっているのか、もしわかっていたら教えてください。

○議長（塚野芳美君） 復興推進課長。

○復興推進課長（黒沢真也君） ただいまのご質問でございますが、工事の工程等につきましては、ただいま議員がおっしゃったとおりでございます。その中身で現在行われているフォローアップ除染等がきちんとできるようなものなのか、現在のところではしっかりと確認というのは行っていない状況でございますので、これからしっかりと確認をして進めてまいりたいと考えておりますので、ご理解をお願いしたいと思います。

○議長（塚野芳美君） 12番、高橋実君。

○12番（高橋 実君） それでは困るのです。ある会社の例で言うと、懸案事項その4工事での受け

付け終了後、残った工事は夜の森地区ないし新規その5という箇所引き継ぐのか、新年度の工事になるのかとか、解除エリアにおける特殊勤務手当ゼロになった状態で地元企業が一時なら一時で協力して作業ができる体制とれるのか、人が集まらないということ。

あと、4月1日のときに、その後も13番議員も質問していると思うのだけれども、切れ目なく除染を行うとか環境省が約束したのに、その実行がまるきりできない状態。

あとは、11月15日の工期のその4工事、2月ないし3月ぎりぎりまで工期延長は可能だと思うのだけれども、あとは国の財務関係の締め切りという国の勝手な状態で、解除した富岡町の町民が振り回されるというのはいかなものか。約束がとにかく果たせないということ。いろいろあるのですけれども、ただ単に原課の課長がここで今答弁したのが現状なのでしょうけれども、それでは町民、我々議会も困るのです。せめて4月1日にやったのは、29年3月末までは約束したのはきっちり終わって、あと終わった後にどうしてもバッグ背負って高いというところは、再々フォローアップで対応するか、そういう対応しないと。ある場所によっては、林地で森林抱いているところで生まれたばかりの1歳前後の子供がたまに帰ってきて週末過ごすか、来て泊まっているかという場所もありますので、そういうところも、町当局の関係部署は教えてもらえないからわからないでなく、わかるような手段を講じるようにして、そういう場所は0.23マイクロとかではなく、ある程度の範囲内の森林も伐採するのもきっちり除染してやるとかしないと、せっかく町にそういう小さい赤ちゃんが戻って来ているのにもかかわらず、町はわからなかったから手だてしなかったでは物事済まないと思いますので、きっちりアンテナを立てて、目を見開いて、せめて解除になった部署だけはよく見て、絶対3月末までは約束事は守らせるように議会ともども執行部もよろしく願いしておきたいと思いますので、町長どうですか。

○議長（塚野芳美君） 復興推進課長。

○復興推進課長（黒沢真也君） ただいま議員のご指摘のとおりだと考えておりますので、その辺の情報等をいろんなところからきちんと情報収集をして、そういったところについては、0.23にとらわれないようなしっかりとした除染を徹底してもらえるように要望していきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（塚野芳美君） 町長。

○町長（宮本皓一君） 議員ご指摘の件ですが、まさに富岡町がこの4月1日に解除して、解除になったからもう国は振り向かないというようなことを町民からさまざまなご意見いただいております。そういう観点からも、これらについてはしっかりと国に私直接要望してまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと思います。

○議長（塚野芳美君） そのほかございますか。

13番、渡辺三男君。

○13番（渡辺三男君） ちょっと関連で言わせてもらいますけれども、6月29日ですか、全協やった

の。この件でやりましたよね。それで、環境省さんはしっかりやりますということを何回も言ったと思うのですが、際除染なりなんなり、大熊地区際除染を今大熊との調整中という話もありましたよね。そういうところの調整はどのくらい、3カ月とか半年調整すれば調整完了するのか。本来であれば、すぐ着工しなくてはならないのかなと思うのです。

あと、大熊との調整だけではなくて、前にも言いましたが、夜の森の二橋から王塚の点滅信号までは際除染やったのです。その下に来れば、たびたび戻ってきて住んでいる、ここにもいますけれども、2番の高野議員もいますよね。そういう部分の後ろ全然手つかず状態なのです。だから、やります、やりますと、ではいつやるのだ。半年後か1年後かという話になってしまうのですけれども、やりますと言ったら、町もやっぱり環境省にきちんと確認しておかなければ、どこどこいつからやるのですかと。恐らくあれからまだ15日くらいしかたっていないから、当然できないという話になろうかと思うのですが、本来であれば次の日からでもやらなくてはならないのです。高野議員のところなんか住んでいるのですから、しょっちゅう来て。そういうところもほうっておくという自体が私は間違っているのかなと思いますので、ぜひ強く環境省さんに言ってください。お願いしておきます。

○議長（塚野芳美君） 復興推進課長。

○復興推進課長（黒沢真也君） ご指摘大変ありがとうございます。その辺の工程につきまして、前回の6月29日から2週間程度経過しておりますので、その辺のいつやれると。いつやって、いつ終わるということにつきまして、しっかりと確認をしてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（塚野芳美君） 13番、渡辺三男君。

○13番（渡辺三男君） いつも環境省に私いら立ち感じるのですが、今も言ったようにやります、やります。それで、本来やらなくてはならないこと全くやれていないのです。

けさも環境省に電話入れて怒ってきたのですけれども、困難区域だからばかにしているのかと言ったのですが、今道路整備していますよね。黒沢課長にはお願いはしてきたのですが、道路整備してU字溝から道路側20センチも30センチもすき取りして、すりつけもしないで投げておくのです。入り口入れないのです。困難区域だから、人来ないからという考え方でやっているのだと思うのですが、今いろいろお盆の時期も近づいてきていますので、墓参りに来る人とか、私は全部困難区域にしか土地ないですから、やっぱり使いたい部分は何らかの形で使うときもあるのです、うちにも細かく行く場合もあるし。それで、20センチも30センチも取って投げっ放しなのです。だから、全く当たり前でやらなくてはならないことをやらないのです。それが国なのですかと私は思うのです。国の大きな機関から考えれば、そんなことどうでもいいのだからもしれない。だけれども、我々からしてみれば、そういうことがやっぱり一番大切なのかなと思うのです。それやらないのだったら、何で解除させたのだということになってしまいますので、ぜひその辺を本当に環境省には目配り、気配りしっかりしてもらいたい。我々も当然目配り、気配りしているつもりなのですけれども、ぜひその辺をお願いしたい

と思います。

○議長（塚野芳美君） 復興推進課長。

○復興推進課長（黒沢真也君） ただいまのご指摘でございますが、当課といたしましても、現地のパトロール等を強化しまして、気になった点等は随時環境省に申し入れをしているところでございますが、ただいまご指摘の点も踏まえまして、さらに強く要望、指摘等してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（塚野芳美君） 企画課長。

○企画課長（林 紀夫君） 目配りという観点から1つご報告というか、もう一度ご承知いただきたいことがあります。昨年からもずっと続けておりますが、除染、解体について、推進、それから進捗を確認する、問題点を洗い出すという会議を定期的に環境省交え、復興庁、それから内閣府、福島県、町が入ってやっております。6月29日の全協前段でもそういう会議をしながら、同じようなご指摘をしてまいりました。

今ご指摘いただいたことについては、今月末から来月の頭にかけて再度推進会議を開催いたしまして、申し入れていきたい。それから、確認をしていきたいと考えておりますので、再度そのことについてはご承知おきいただきながら、その結果については環境省の体制もまた変わっておりますので、全協等々開いていただきながら、確認をいただければと思っております。

以上です。

○議長（塚野芳美君） そのほかございますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（塚野芳美君） なければ、以上をもちまして富岡町議会全員協議会を終了いたします。

お疲れさまでした。

閉 会 （午前11時19分）